BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME:　HYPER CELL MOTION　　平成 30 年 6 月 14 日

COLOR: BLACK/WHITE/VIOLET

WEIGHT BLOCK : NUCLEUS™ CORE

COVER STOCK: eTRAX-H18 ™ HYBRID REACTIVE

RG : 2.52　⊿RG:0.056　ID:0.018

FACTORY FINISH: 1500-Grit Polished

TRACKFLAREPOTENTIAL:5+

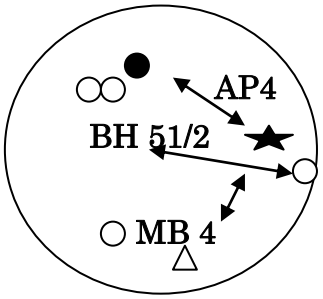
BACK END:18（1－20）MAX　LENGTH : 16（1-20）

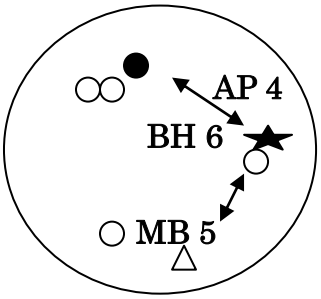
O	LONG			
I	MEDIUM		◯	
L	SHORT		◯	◯
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショングラフ

レイアウト例

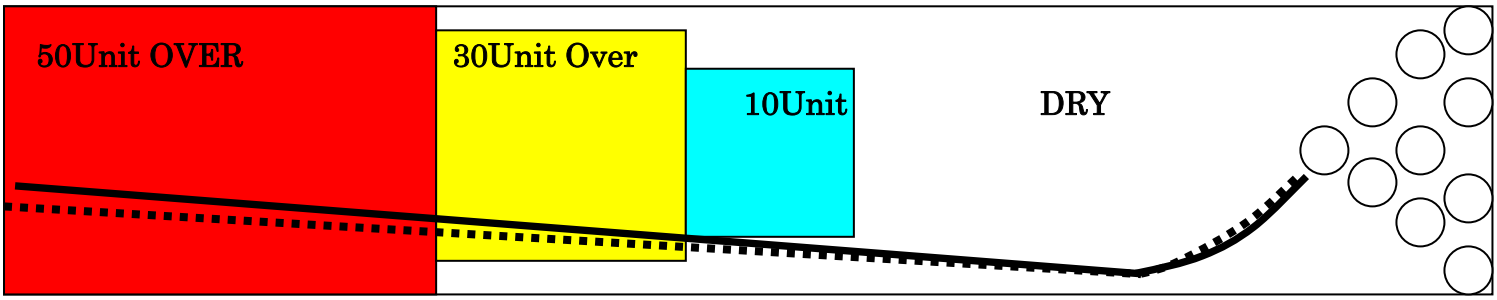
PURE CELL　　HYPER CELL MOTION





CA52 度　　CA52 度

【ミディアムレーン 編】　　ﾌﾚｱｰ幅　最大 63/4・間隔 1/8　　最大 6 3/4・



0F　　15F　　37F　　40F

比較品ライン　　HYPER CELL MOTION　　PURE CELL

【レーン状況】 ベースコンディションはミディアムクラスのレーン。ピン側は手拭きにてレーンクリーニングを行いました

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5
スキッド	1	2	3	4	5
ﾋﾟﾝｱｸｼｮﾝ	1	2	3	4	5

曲がり方	ｱｰｸ	1	2	3	4	5	ｼｬｰﾌﾟ
ｵｲﾙの強さ		1	2	3	4	5	

テスト品 ○　　比較品 △

＊上記の数字は、1 側が少ない(短い・弱い)　5 側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

CELL シリーズの安定感は ROTOGRIP の中でも群を抜く感じで、前回の FUSED と比べて走りが強調された感じがあります。レーン中盤からの軸移動は大きいわりには細かい幅になりますのでアーク状の強い立上りで大きな弧を描きます。また、ピン飛びは必見で多少投球に誤差が出ても難なくストライクが得られました。

【ここがポイント】

相変わらずの安定感は投げていて安心感につながりますね。信頼感の高い製品です。FUSED と比べるとレーン手前から中盤の直進性が強くなった分ブレークポイントから大きな曲りが出ていました。軸移動もフレア幅が狭いのでオイルの有る所と無い所のボール軌道差が少なくこれも安定感に繋がっている印象があります。とにかくストライクを取るのが簡単になって行きますね((笑)　これは是非投げてみて欲しいボールです。

平成 30 年　月販売予定　テスト協力：本八幡ハタ BC　テスター：石原　章夫プロ(11 期)